

2020年3月期 決算短信補足資料

2020年4月28日(火)

【名証2部】証券コード:6111

 旭精機工業株式会社

売上高は主に、プレス機械の増加があったものの、精密金属加工品、自動機・専用機が減少したことにより、前期比▲3.2%の139億4千1百万円となりました。

()は前期比

精密金属加工品:40億9千9百万円(▲7.7%)

✓ 自動車関連部品及び水晶振動子関連部品の減少

小口径銃弾:32億9千7百万円(+6.4%)

✓ 政府の予算執行を受け、増加

プレス機械:41億7千7百万円(+7.2%)

✓ リチウムイオン電池缶製造用プレスの輸出増加

自動機・専用機:7億4千4百万円(▲26.1%)

✓ 自動車関連向けの減少

ばね機械:7億6千7百万円(▲19.2%)

✓ コイルばね成形用の製品の減少

航空機部品:7億6千万円(+16.7%)

✓ 旅客機用部品の増加

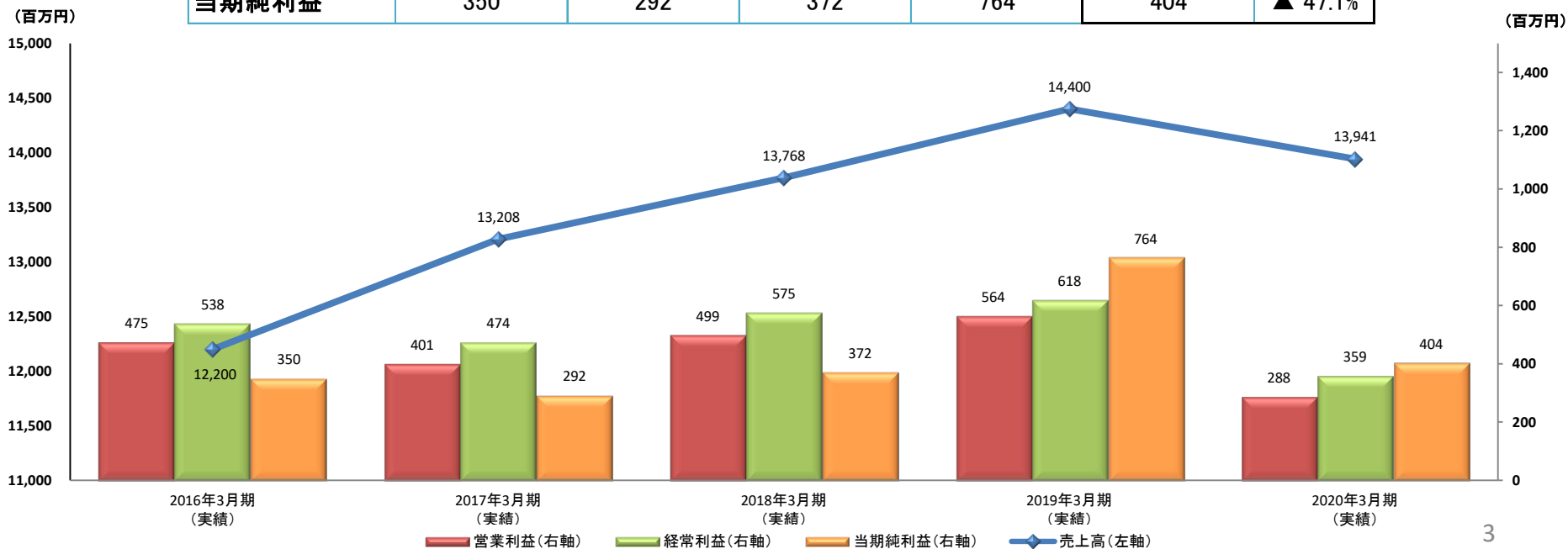
(単位:百万円)

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	前年比
売上高	12,200	13,208	13,768	14,400	13,941	▲ 3.2%
営業利益	475	401	499	564	288	▲ 48.8%
経常利益	538	474	575	618	359	▲ 41.9%
当期純利益	350	292	372	764	404	▲ 47.1%
1株当たり 当期純利益	123円29銭	102円87銭	130円82銭	308円38銭	167円73銭	—
1株当たり 配当金	6円00銭	6円00銭	70円00銭	70円00銭	70円00銭	—
配当性向	48.7%	58.3%	53.5%	22.7%	41.7%	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。
2016年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
株式併合後の基準で換算した2016年3月期及び2017年3月期の1株当たり期末配当金については、60円となります。

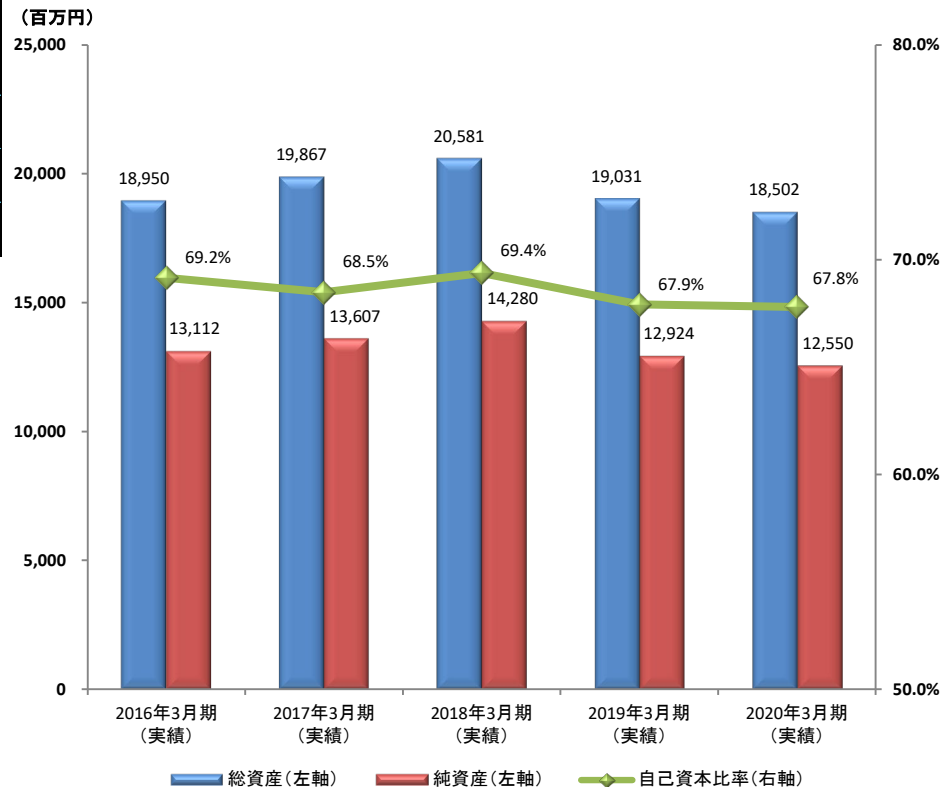
(単位:百万円)

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	前年比
売上高	12,200	13,208	13,768	14,400	13,941	▲ 3.2%
営業利益	475	401	499	564	288	▲ 48.8%
経常利益	538	474	575	618	359	▲ 41.9%
当期純利益	350	292	372	764	404	▲ 47.1%



(単位:百万円)	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)
総資産	18,950	19,867	20,581	19,031	18,502
純資産	13,112	13,607	14,280	12,924	12,550
自己資本比率	69.2%	68.5%	69.4%	67.9%	67.8%
1株当たり純資産	4,610円15銭	4,784円63銭	5,022円56銭	5,358円83銭	5,207円56銭

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。
2016年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。



資産、負債及び純資産の状況

(資産) : 185億2百万円、前期末比▲5億2千9百万円

✓ 主に、流動資産では、売掛金が7億1千9百万円及び電子記録債権が2億7百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が12億5千1百万円増加、固定資産では、投資有価証券が8億5千4百万円減少。

(負債) : 59億5千1百万円、前期末比▲1億5千5百万円

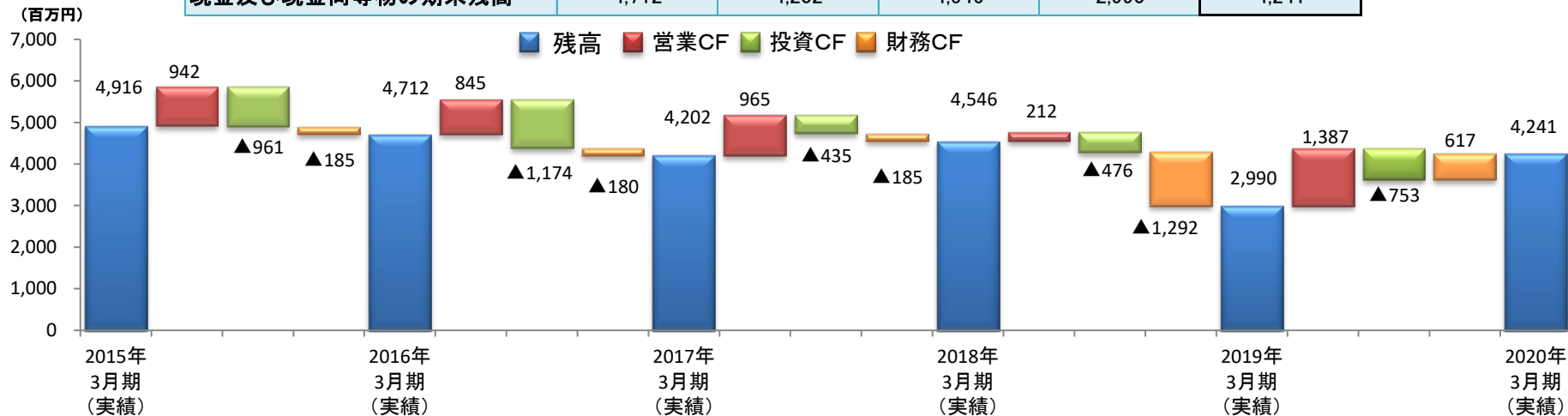
✓ 主に、流動負債では、電子記録債務が3億4千1百万円及び買掛金が2億2千5百万円それぞれ減少したものの、短期借入金が増加、固定負債では、繰延税金負債が2億1千5百万円減少。

(純資産) : 125億5千万円、前期末比▲3億7千4百万円

✓ 主に、その他有価証券評価差額金が6億5百万円減少。

(単位:百万円)

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)
営業活動によるキャッシュ・フロー	942	845	965	212	1,387
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 961	▲ 1,174	▲ 435	▲ 476	▲ 753
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 185	▲ 180	▲ 185	▲ 1,292	617
現金及び現金同等物の期首残高	4,916	4,712	4,202	4,546	2,990
現金及び現金同等物の期末残高	4,712	4,202	4,546	2,990	4,241



キャッシュフロー状況

当事業年度における現金及び現金同等物は42億4千1百万円 前期末比 12億5千1百万円増加

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

✓ 前年期末より主に、仕入債務が6億4千1百万円減少したものの、売上債権が9億2千7百万円減少したこと、減価償却費を8億1千4百万円及び税引前当期純利益を5億4千7百万円計上。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

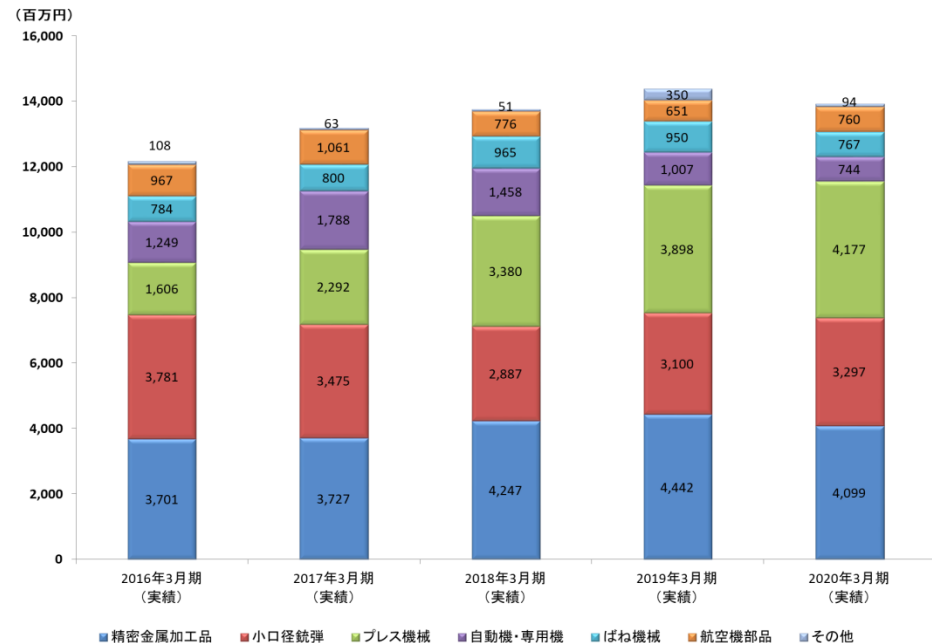
✓ 前年期末より主に、投資有価証券の売却により2億9百万円増加したものの、有形固定資産の取得で9億1千7百万円支出。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

✓ 前年期末より主に、配当金で1億6千8百万円支出したものの、短期借入金が8億円増加。

2020年3月期 セグメント別売上高推移

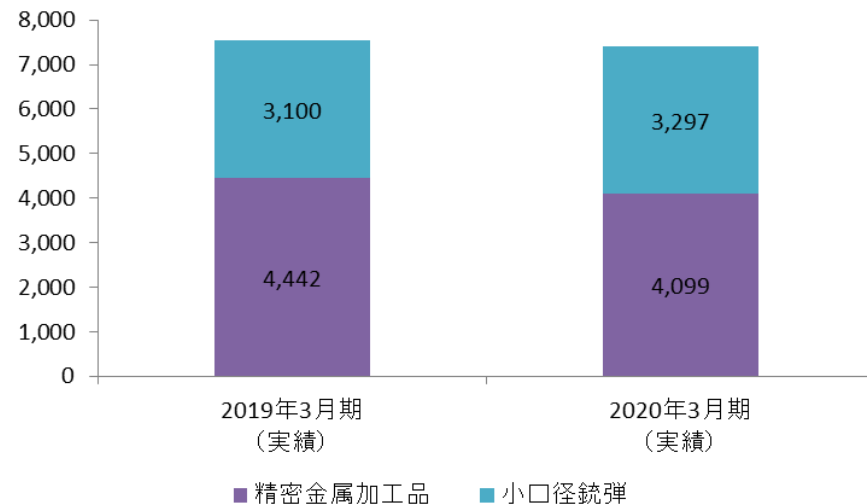
(単位:百万円)	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	前年比
精密加工事業部	7,483	7,202	7,135	7,542	7,397	▲ 1.9%
精密金属加工品	3,701	3,727	4,247	4,442	4,099	▲ 7.7%
小口径銃弾	3,781	3,475	2,887	3,100	3,297	6.4%
機械事業部	4,716	6,005	6,633	6,857	6,544	▲ 4.6%
プレス機械	1,606	2,292	3,380	3,898	4,177	7.2%
自動機・専用機	1,249	1,788	1,458	1,007	744	▲ 26.1%
ばね機械	784	800	965	950	767	▲ 19.2%
航空機部品	967	1,061	776	651	760	16.7%
その他	108	63	51	350	94	▲ 73.0%
合計	12,200	13,208	13,768	14,400	13,941	▲ 3.2%

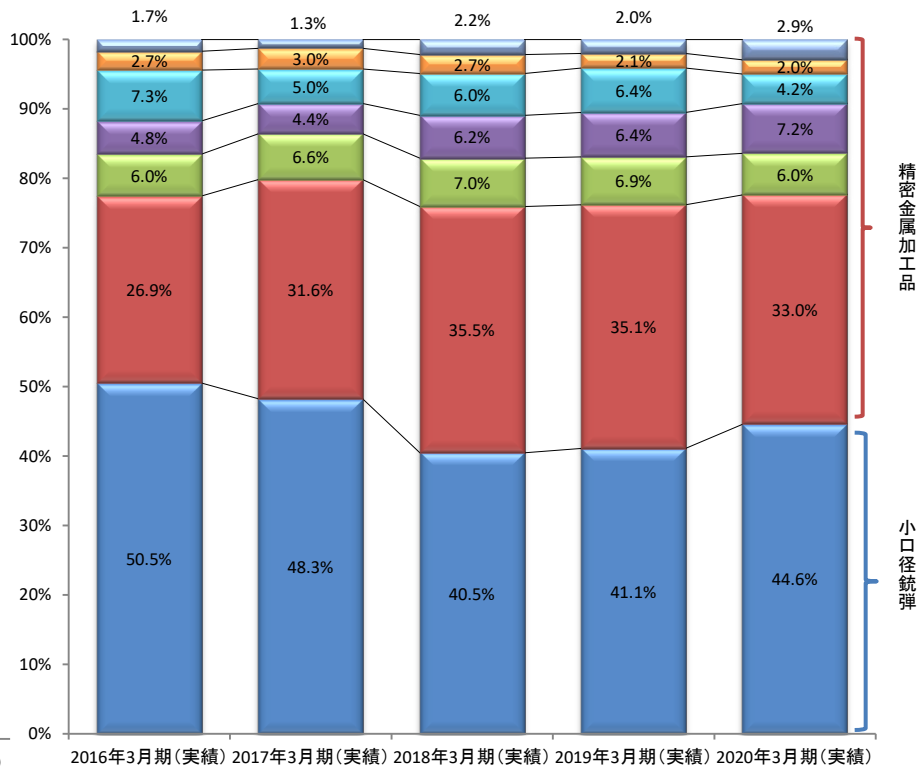
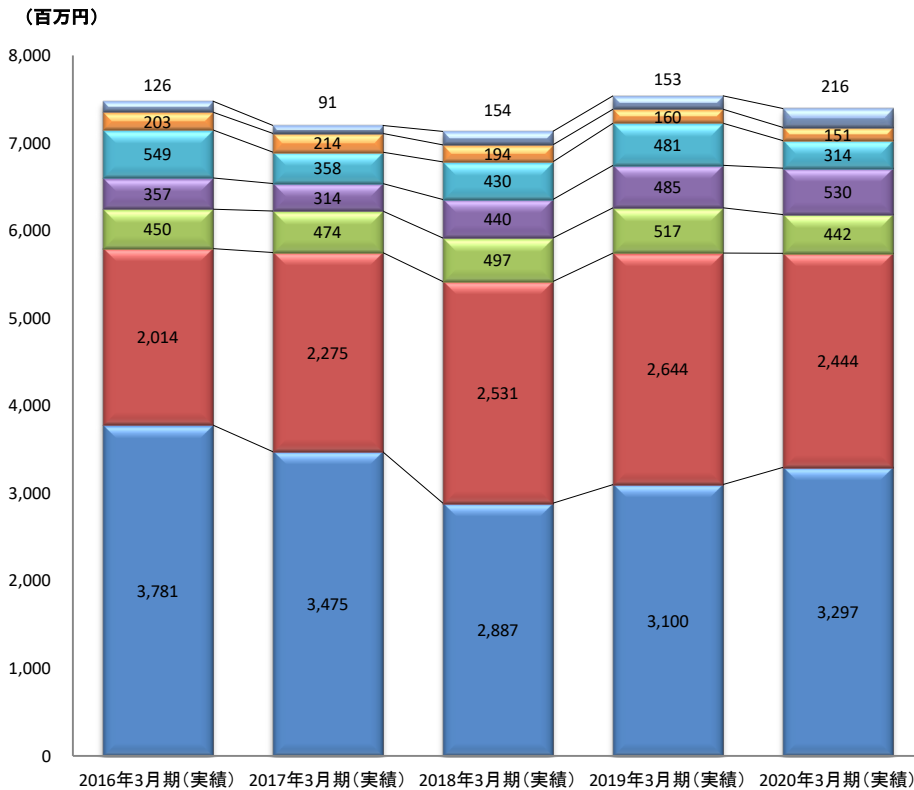


(単位:百万円)

	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)
精密金属加工品	4,442	4,099
小口径銃弾	3,100	3,297
合計	7,542	7,397

(百万円)

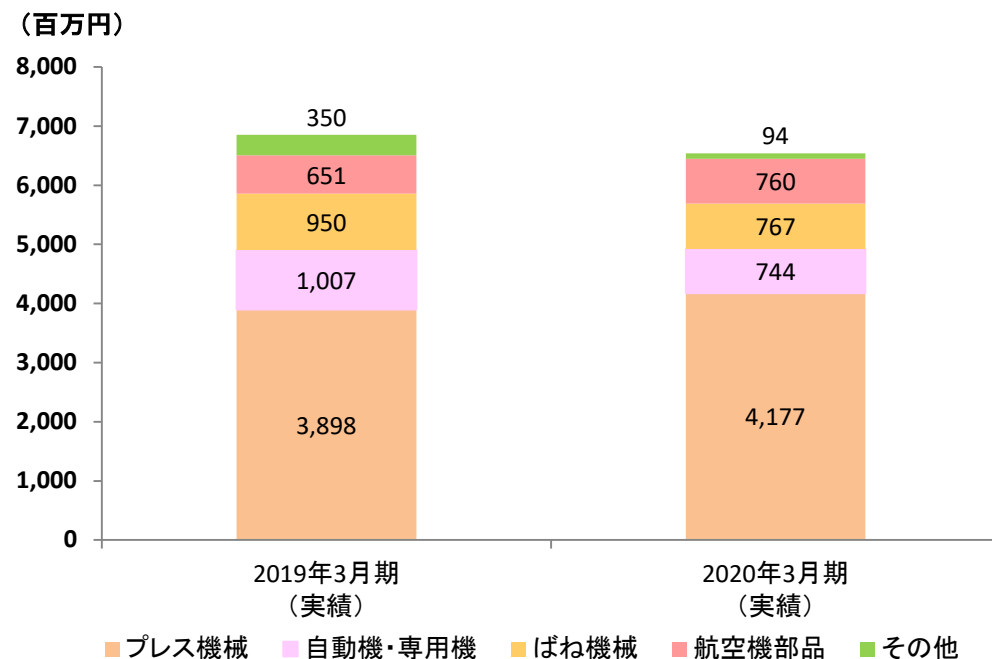




■銃弾 ■自動車 ■安全部品 ■文具 ■水晶振動子 ■エアコン関連 ■その他

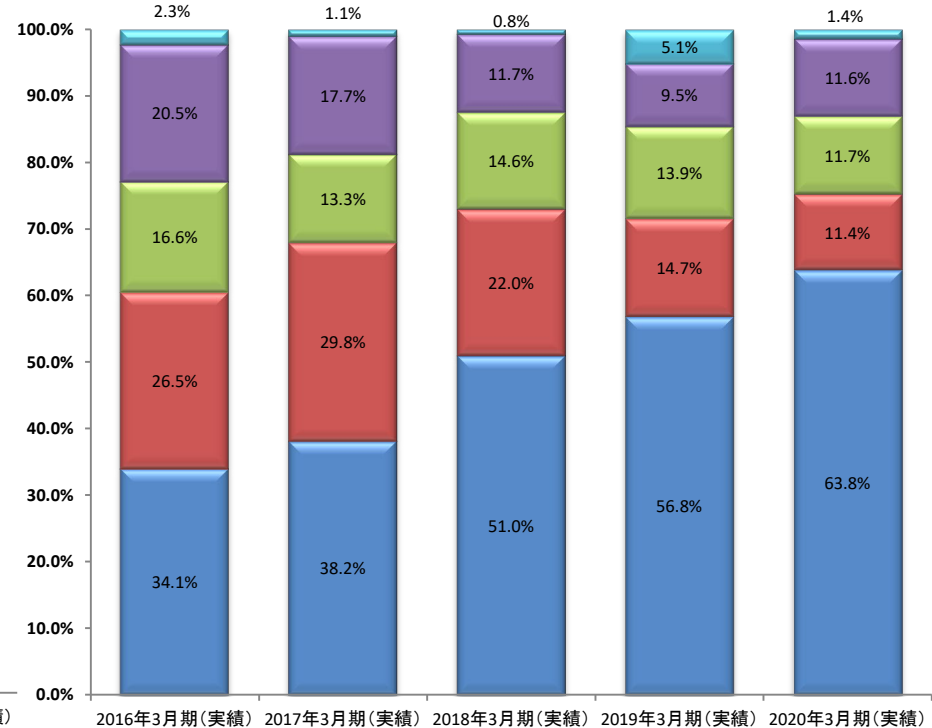
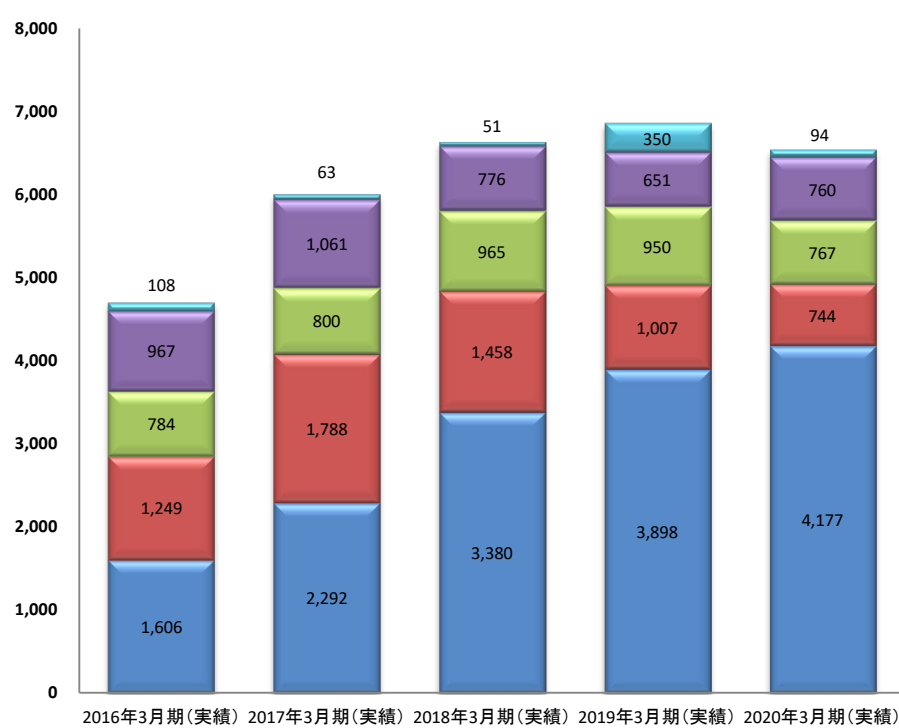
■銃弾 ■自動車 ■安全部品 ■文具 ■水晶振動子 ■エアコン関連 ■その他

(単位:百万円)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)
プレス機械	3,898	4,177
自動機・専用機	1,007	744
ばね機械	950	767
航空機部品	651	760
その他	350	94
合計	6,857	6,544



2020年3月期 機械事業部 売上推移及び構成比

(百万円)



■ プレス機械 ■ 自動機・専用機 ■ ばね機械 ■ 航空機部品 ■ その他

■ プレス機械 ■ 自動機・専用機 ■ ばね機械 ■ 航空機部品 ■ その他

(単位:百万円)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (予想)	前年比
売上高	13,208	13,768	14,400	13,941	13,600	▲ 2.5%
営業利益	401	499	564	288	70	▲ 75.7%
経常利益	474	575	618	359	120	▲ 66.6%
当期純利益	292	372	764	404	60	▲ 85.2%
1株当たり当期純利益	102円87銭	130円82銭	308円38銭	167円73銭	24円90銭	-
1株当たり配当金	6円00銭	70円00銭	70円00銭	70円00銭	未定	-
配当性向	58.3%	53.5%	22.7%	41.7%	-	-

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。
2016年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
株式併合後の基準で換算した2017年3月期の1株当たり期末配当金については、60円となります。

セグメント別売上高推移及び予想

(単位:百万円)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (予想)	前年比
精密加工事業部	7,202	7,135	7,542	7,397	7,250	▲ 2.0%
精密金属加工品	3,727	4,247	4,442	4,099	4,050	▲ 1.2%
小口径銃弾	3,475	2,887	3,100	3,297	3,200	▲ 2.9%
機械事業部	6,005	6,633	6,857	6,544	6,350	▲ 3.0%
プレス機械	2,292	3,380	3,898	4,177	4,050	▲ 3.0%
自動機・専用機	1,788	1,458	1,007	744	800	7.5%
ばね機械	800	965	950	767	750	▲ 2.2%
航空機部品	1,061	776	651	760	500	▲ 34.2%
その他	63	51	350	94	250	166.0%
合計	13,208	13,768	14,400	13,941	13,600	▲ 2.5%

設備投資(工事ベース)・減価償却費の推移及び予想

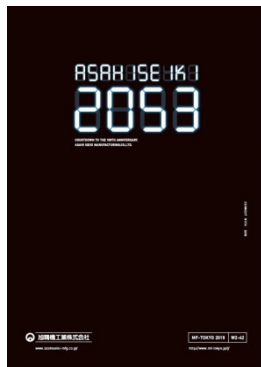
(単位:百万円)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (予想)
設備投資	777	655	1,487	995	575
減価償却費	752	723	771	814	850

Topic 1. 「日本産業広告賞* 佳作」を受賞

日刊工業新聞社主催「第54回 日本産業広告賞」におきまして、「プレス技術」誌に掲載しました当社広告が**雑誌部門の佳作を受賞いたしました。**

内容は、MF-TOKYO2019に発表しました新たな開発ヴィジョン「ALPHANOMOUS」(アルファノマス)の広告となっております。

*日刊工業新聞社が産業広告の健全な発展と質的向上を図る目的から、1966年に制定以来毎年実施している広告賞



(受賞広告)

Topic 2. 第70回全国植樹祭*に資金協賛

2019年6月2日に愛知県森林公園において開催されました第70回全国植樹祭に当社は資金協賛いたしました。

当社は引き続き社会から信頼される「環境と調和する企業」を目指し、事業活動を進めてまいります。

*全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるために、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により開催する、国土緑化運動の中心的行事



(感謝状)

Possibility

Technology opening up new possibilities

旭精機工業株式会社

IRに関するお問い合わせ先
旭精機工業株式会社 経営企画・IR室
TEL:0561-52-5356

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。